

2020年度
北日本血液研究会活動報告



1. 活動実績
 - 1) 臨床研究
 - 2) 治験
 - 3) 臨床研究ミーティング
 - 4) 造血細胞移植拠点病院研修会
 - 5) 学術講演

2. 会務
 - 1) 総会、幹事会
 - 2) 会計報告

3. 会則

4. 役員、参加施設

1. 活動実績

1) 臨床研究

[造血幹細胞移植関連]

1-1) 「北日本血液研究会における臍帯血移植の前向き観察研究 (NJHSG-CBT18)」

- ・対象：北日本血液研究会参加施設で、臍帯血移植を施行する患者。
- ・登録期間：2018年7月1日～2023年7月1日 登録終了
- ・目標症例数：65例
- ・担当者：北大血液内科 白鳥聡一

1-2) 「同種造血幹細胞移植後の抗ヒト胸腺細胞グロブリン体内動態および免疫パラメーターの解析」

- ・対象：北海道大学病院血液内科に通院または入院し、2018年4月13日から2022年3月31日までの間に、研究目的で検体を採取、保管した同種造血幹細胞移植施行患者およびその血縁ドナーを対象とする。
- ・登録期間：2018年4月13日～2022年3月31日 登録終了
- ・目標症例数：145例
- ・担当者：北大血液内科 橋本大吾

1-3) 「同種造血幹細胞移植後の卵巣機能評価」

- ・対象：平成28年9月1日から平成35年8月31日に、同種造血幹細胞移植を受けた患者。移植時12歳以上50歳未満の女性患者に限る。
- ・目標症例数：全体 20例 (北大:10例)
- ・登録期間：2016年10月7日～2023年8月31日
- ・担当者：北大血液内科 橋本大吾

1-4) 「HBV 既往感染歴を有する同種造血細胞移植レシピエントに対する、HB ワクチンによる HBV 再活性化予防法のランダム化検証的試験」

- ・対象：同種造血幹細胞移植を受ける HBc 抗体陽性の HBV 既往感染症例。
- ・目標症例数：北大:10例
- ・登録期間：2018年9月1日～2023年3月1日
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

1-5) 「HLA 適合または 1-2 allele 不適合ドナーからの同種末梢血幹細胞移植における移植後シクロホスファミドを用いた GVHD 予防法の有効性と安全性を確認する第 II 相臨床試験 JSCT PTCY19」

- ・対象：血液悪性疾患
- ・目標症例数：北大:10例
- ・登録期間：2020年3月1日～2022年12月31日
- ・担当者：北大血液内科 杉田純一

[急性白血病関連]

1-6) 「急性白血病における遺伝子変異と治療反応性・白血病発症機序の解明 (Hokkaido Leukemia Net : HLN) 」

- ・対象：初発/再発 急性骨髄性白血病および急性リンパ性白血病
- ・目標症例数：500例
- ・登録期間：5年間（～2021年3月31日終了）
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

1-7) 「急性前骨髄球性白血病に対する治療プロトコール FBMTG APL2017」

- ・対象：初発急性前骨髄球性白血病
- ・目標症例数：50例
- ・登録症例数：1例
- ・登録期間：5年間（平成29年1月1日～平成38年12月1日）
- ・担当者：北大血液内科 後藤秀樹
- ・共同研究部署：九州医療センター 血液内科 高瀬謙 先生（小野澤真弘）

1-8) 「成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコール JSCT-ALL/MRD2019

- ・対象：初発成人急性リンパ性白血病
- ・目標症例数：200例
- ・登録期間：5年間（2020年1月～2024年9月）
- ・担当者：北大血液内科 後藤秀樹
- ・共同研究部署：久留米大学血液内科 長藤宏司 先生（杉田純一）

[多発性骨髄腫関連]

1-9) 「未治療高齢者多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験 (FBMTG EMM17) 」

- ・対象：初発多発性骨髄腫（65歳～75歳）
- ・目標症例数：49例
- ・登録期間：2017年10月1日～2020年11月30日
- ・共同研究部署：九大血液内科 赤司浩一 先生（大東寛幸）

[骨髄不全・骨髄異形成症候群関連]

1-10) 「難治性造血器疾患の病態解明と診断向上を目的としたオミクス解析」

- ・対象：AA、MDS、MF、PNH、遺伝性造血障害、CAEBV 関連疾患（含疑い）
- ・目標症例数：10例
- ・登録症例数：14例
- ・登録期間：2017年10月1日～2020年3月1日
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

- ・共同研究部署：東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 宮野悟先生

[HIV 関連]

1-1 1) 「HIV 感染同性愛者における急性 C 型肝炎の解析」

- ・対象：急性 C 型肝炎を発症した HIV 陽性 MSM 患者
- ・目標症例数：5例
- ・登録期間：～2022 年 3 月 1 日
- ・担当者：北大血液内科 遠藤知之
- ・共同研究部署：国立感染症研究所 ウィルス第二部 相崎英樹 先生

1-1 2) 「日本人の成人 HIV-1 感染症患者にビクテグラビル／エムトリシタビン／テノホビルアラフェナミド (B/F/TAF) を投与した場合の有効性, 安全性, アドヒアランス及び健康関連生活の質を検討する多施設共同, 非介入, コホート研究」

- ・対象：ビクタルビ投与中/投与予定の HIV 感染者
- ・目標症例数：19例
- ・登録期間：2020年3月～2022年3月
- ・担当者：北大血液内科 遠藤知之
- ・共同研究部署：国立国際医療研究センター

1-1 3) 「ELISA 法による血清抗赤痢アメーバ抗体検査の必要性・有用性に関する多施設共同横断検討」

- ・対象：アメーバ抗体検査が必要な患者 (HIV 感染者に限らない)
- ・目標症例数：30例
- ・登録期間：2019年6月～2022年3月
- ・担当者：北大血液内科 遠藤知之
- ・共同研究部署：国立国際医療研究センター

[血友病]

1-1 4) 「エミシズマブ定期投与中の FVIII インヒビターを保有しない先天性血友病 A 患者における, 身体活動及び出血イベント, 日常生活の質, 安全性を評価する多施設共同, 前向き観察研究」

- ・対象：血友病 A 患者
- ・目標症例数：2例
- ・登録期間：2020/1/22～2020/12/31
- ・担当者：北大血液内科 遠藤知之
- ・共同研究部署：奈良県立医科大学

1-1 5) 「成人血友病患者の合併症に関する縦断的研究」

- ・対象：40 才以上の血友病患者
- ・目標症例数：35例

- ・登録期間：2020/5/19～2031/12/31
- ・担当者：北大血液内科 遠藤知之
- ・共同研究部署：奈良県立医科大学

[疫学調査]

1-16) 「北海道の血液疾患発生状況の把握: NJHSG registration protocol」

- ・対象：血液疾患
- ・登録期間：2019/4/1～2030/3/1
- ・担当者：北大血液内科 後藤秀樹

2) 治験

[GVHD 関連]

2-1) 「同種造血幹細胞移植を受ける患者の腸管急性移植片対宿主病予防におけるベドリズムブの有効性及び安全性を評価する、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験」

- ・目標症例数：3例、登録症例数：3例
- ・登録期間：2019年3月1日～2020年4月1日
- ・担当者：北大血液内科 白鳥聡一

[悪性リンパ腫関連]

2-2) 「再発難治性末梢性T細胞リンパ腫に対するONO-4538の有効性の検討：医師主導臨床第Ⅱ相治験」

- ・目標症例数：2例、登録症例数：0例
- ・登録期間：2019年5月～2020年4月
- ・担当者：北大血液内科 後藤秀樹

2-3) 「再発又は難治性の血管免疫芽球性T細胞リンパ腫患者を対象としたCC-486(経口用アザチジン)と治験責任医師による選択治療の有効性及び安全性を比較検討する第3相ランダム化試験」

- ・目標症例数：2例、登録症例数：0例
- ・登録期間：2019年12月～2021年3月
- ・担当者：北大血液内科 荒隆英・後藤秀樹

2-4) 「進行期B細胞性腫瘍の日本人成人患者を対象とした、選択的かつ不可逆的なブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬acalabrutinibの安全性、忍容性、薬物動態、及び抗腫瘍効果を検討する第Ⅰ相試験」(未治療慢性リンパ性白血病のみ)

- ・目標症例数：2例、登録症例数：2例
- ・登録期間：2019年6月～2021年7月
- ・担当者：北大血液内科 橋本大吾

2-5) 「血管免疫芽球性 T 細胞性リンパ腫 (AITL) 及びその他の濾胞性ヘルパー T 細胞リンパ腫 (TFH リンパ腫) に対するダサチニブの多施設第 II 相医師主導治験」

- ・ 目標症例数: 1 例、登録症例数: 0 例
- ・ 登録期間: 2019 年 12 月～
- ・ 担当者: 北大血液内科 荒隆英・後藤秀樹

2-6) 「再発又は難治性成人 T 細胞白血病/リンパ腫患者を対象とした Valemetostat tosylate (DS-3201b) の多施設共同、非盲検、単群、第 II 相試験」

- ・ 目標症例数: 1 例、登録症例数: 0 例
- ・ 登録期間: 2020 年 1 月～2025 年 12 月
- ・ 担当者: 北大血液内科 中川雅夫

[CAR-T 細胞治療関連]

2-7) 「再発又は難治性の CD19 陽性 B 細胞性急性リンパ芽球性白血病患者を対象とした TBI-1501 の多施設共同第 I / II 相臨床試験 (CAR-T)」

- ・ 目標症例数: 規定なし、登録症例数: 5 例
- ・ 登録期間: 2017 年 10 月 1 日～未定
- ・ 担当者: 北大血液内科 後藤秀樹

2-8) 「再発又は難治性のアグレッシブ B 細胞性非ホジキンリンパ腫の成人患者を対象とする tisagenlecleucel (CTL019) と標準治療を比較する第 III 相無作為化非盲検試験 (BELINDA 試験)」

- ・ 目標症例数: 3 例、登録症例数: 2 例
- ・ 登録期間: 2019 年 8 月～
- ・ 担当者: 北大血液内科 後藤秀樹

2-9) 「再発または難治性の多発性骨髄腫患者を対象とした BCMA 標的キメラ抗原受容体発現 T 細胞 (CAR-T) 治療薬 JNJ-68284528 の非盲検第 1b 相/第 2 相試験」

- ・ 目標症例数: 2 例、登録症例数: 2 例
- ・ 登録期間: 2019 年 12 月～
- ・ 担当者: 北大血液内科 後藤秀樹

[骨髄異形成症候群関連]

2-10) 「高リスク骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病又は低芽球比率急性骨髄性白血病の患者に対する一次治療としての Pevonedistat+アザシチジン併用投与とアザシチジン単独投与を比較する第 3 相ランダム化非盲検比較試験」

- ・ 目標症例数: 4 例、登録症例数: 2 例
- ・ 登録期間: 2018 年 4 月 1 日～2020 年 6 月 1 日
- ・ 担当者: 北大血液内科 小野澤

[急性骨髄性白血病関連]

2-1 1) 「高リスク急性骨髄性白血病患者を対象としたNS-87の臨床第I/II相試験」

- ・登録予定数 2 例、登録症例 2 例
- ・登録期間：2019 年 10 月～2023 年 9 月
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

2-1 2) 「従来の化学療法後の第一寛解期にある急性骨髄性白血病患者の維持療法としてのベネトクラクス+アザシチジンをベストサポーティブケアと比較する無作為化、非盲検、2 群、多施設共同、第 III 相試験 (VIALE-M)」

- ・登録予定数 2 例、登録症例 0 例
- ・登録期間：2020 年 3 月～2021 年 8 月
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

2-1 3) 「同種移植後の急性骨髄性白血病患者を対象としてベネトクラクスとアザシチジンの併用投与の安全性及び有効性を評価する無作為化、非盲検第 III 相試験 (VIALE-T)」

- ・登録予定数 4 例、登録症例 0 例
- ・登録期間：2020 年 3 月～2022 年 8 月
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

[その他]

2-1 4) 「成人の一次性免疫性血小板減少症患者を対象として efgartigimod (ARGX-113) 10 mg/kg 静脈内投与の安全性及び有効性を評価する多施設共同非盲検長期第 III 相試験」

- ・登録予定数 1 例、登録症例 0 例
- ・登録期間：2020 年 2 月～
- ・担当者：北大血液内科 小野澤真弘

2-1 5) 「日本人の後天性血栓性血小板減少性紫斑病患者を対象とした caplacizumab の有効性及び安全性を検討する非盲検、多施設共同試験」

- ・登録予定数 1 例、登録症例 0 例
- ・登録期間：2019 年 11 月～2020 年 9 月
- ・担当者：北大血液内科 遠藤知之

3) 臨床研究ミーティング

3-1) 臨床研究マネージャーミーティング

令和 2 年 11 月 5 日 (木) 19:00～21:00 Web 開催

3-2) 臨床研究マネージャーミーティング

令和3年3月18日(木) 19:00~21:00 Web開催

4) 造血細胞移植拠点病院研修会

4-1) 令和2年度第1回造血幹細胞移植 Web セミナー

日時: 令和2年9月19日(土) 13:30~17:30

テーマ: 『「血液疾患で移植治療を受けるAYA世代がん患者」の意思決定』

教育講演 1

「AYA世代患者の意思決定に関する心理学的知識」

東北大学大学院教育学研究科 准教授 吉田沙蘭 先生

特別講演 2

「AYA世代がん患者・家族の意思決定における実際～AYA支援の現場から造血器腫瘍患者・家族に向けたケアの実際～」

静岡がんセンター がん看護専門看護師 津村明美 先生

経験者と医療者の対談

「AYA世代の経験談から意思決定支援のニーズを考える」経験談: 水本健人先生・星野希実先生

4-2) 令和2年度第2回造血幹細胞移植 Web セミナー

日時: 令和2年11月14日(土) 13:00~15:00

テーマ: 『同種移植後の管理』

「同種移植・GVHDの基礎知識」

北海道大学病院 血液内科 助教 荒隆英 先生

「北大病院における同種移植後の看護」

北海道大学病院 12-2 ナースステーション 看護師 村上景子 先生

4-3) LTFU 看護基礎研修 I・II (Web開催)

日時: 令和3年1月23日(土) 9:15~16:55

「移植の基礎」

札幌北楡病院 血液内科 岡田耕平 先生

「移植コーディネーター・倫理」

札幌北楡病院 造血細胞移植コーディネーター 山崎奈美恵 先生

「抗がん薬の種類と特性」「曝露防止について」

北海道大学病院 看護師長 三宅亜矢 先生

「感染管理について」

名古屋第一赤十字病院 看護部 高坂久美子 先生

「口腔ケア」

北海道大学病院 医療技術部 歯科衛生士 斎藤しのぶ 先生

「皮膚ケア」

北海道大学病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 高橋史 先生

「患者教育及び家族支援について」

北海道大学病院 副看護師長 本間清香 先生

4-4) 令和2年度第3回造血幹細胞移植 Web セミナー

日時: 令和3年2月27日(土) 13:00~15:00

テーマ: 『「同種移植における栄養管理」』

「経管栄養を用いた移植後管理について」

札幌医科大学附属病院 10階北病棟 吉田唯紅美 先生

「札幌北榆病院における同種移植の栄養管理について」

札幌北榆病院 NST 川岸志津 先生

「栄養療法の有用性と実践するための秘訣」

札幌医科大学 集中治療医学 准教授 巽博臣 先生

5) 学術講演会

5-1) 北日本血液研究会 学術講演会

令和2年11月6日(金) 19:00~20:00 Web 開催

特別講演

「造血器腫瘍におけるゲノム医療と今後の可能性」

慶應義塾大学医学部 血液内科教授 片岡圭亮

2. 会務

1) 総会、幹事会

2020年11月6日(金) Web開催

2) 会計報告

①北日本血液研究会 2020年度会計報告(別紙参照)

②北日本血液研究会 2021年度予算案(別紙参照)

3. 会則

北日本血液研究会（NJHSG）会則

2012年10月27日
（第1版）

2015年11月6日
（第2版）

2019年4月19日
（第3版）

2020年11月9日
（第4版）

第1条（名称）

本会は、North Japan Hematology Study Group (NJHSG)、
「北日本血液研究会」と称する。

第2条（目的）

本会は血液病の治療の進歩・発展を促すことを目的とする。
患者さんや医療人に対して最新の情報を共有する機会を創出することや臨床研究や
基礎研究を通じて血液病患者のためのエビデンスを創出し、地域医療から世界的な医
療の発展に貢献する。

第3条（事業）

本会の目的達成の為、次の事業を行う。

第1項 年次総会・定例会・研究集会

第2項 その他の事業（研究事業・国内外関係学会との交流等）

第4条（役員）

本会の役員は下記の通りとする。役員の任期は2年とする。
ただし、再任を妨げない。

第1項 代表（1名）

代表は、幹事会の互選によって選出され会務を統括する。

第2項 顧問（若干名）

代表の推薦により、幹事会の承認を得て決定する。

第3項 幹事（若干名）

幹事会を構成し会務を分担する。

第4項 会計（1名）

幹事より互選により選出し、会運営の収支決算書を作成する。

第5項 監事（1名）

幹事より互選により選出し、会計を監査する。

第5条（事務局）

本会の事務局を下記におき、本会運営の為の事務処理等を行う。

北海道大学病院 血液内科 医局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

TEL 011-706-7214 FAX011-706-7823

事務局担当は医局長が実務を行う。

第6条（会計）

本会の事業遂行に要する費用は会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに当てる。本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日とする。

第7条（収支決算）

本会の会計は事務局において集計し監事の監査を経て、幹事会で承認されなければならない。

第8条（会員）

会員は、北海道大学病院血液内科関連病院に勤務している者並びにこれに準ずる者かつ第2条の趣旨に賛同する者とする。

第9条（資格の喪失）

会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

第1項 退会したとき。

第2項 退会は、事務局への書面による申出により行う。

第10条（会議）

会議として、総会、幹事会や研究集会を下記の通りとする。

第1項 年次総会、研究集会は、幹事会の決定によって運営される。

第2項 幹事会は、代表幹事が招集して議長を務め年1回以上開催する。

第3項 幹事会は、役員総数の3分の1以上の出席にて成立する。

第4項 代表ならびに幹事は、年次総会・研究集会の開催地を決定し、研究集会の地区世話人に研究集会の準備（演題の募集等）を依頼する。

第 11 条（会費）

12 月頃に年会費として参加 1 施設あたり 100,000 円を納める。希望する施設には、10,000 円～100,000 円の範囲で変更を認める。

第 12 条（会則変更）

本会則の変更は、幹事会において出席者の過半数以上の賛成を必要とする。

第 13 条（附則）

附則は、下記の通りとする。

第 1 項 本会則は平成 24 年 10 月 27 日より施行する。

第 2 項 本会の事業は本会の目的に賛同する企業、その他の団体と共催することができる。

第 3 項 参加各施設で、臨床試験の遂行に係る実務を担当する、臨床研究マネージャーを選出し、臨床研究マネージャー会議を年数回程度開催する。

第 4 項 臨床研究マネージャー会議の下部組織として、ワーキンググループを設置し、別に定める「NJHSG ワーキンググループ運営に関する細則」に則り行われる。

第 14 条（施行）

この会則は平成 24 年 10 月 27 日から施行する。

附記

会則改正

2015 年 11 月 6 日

第 5 条改正 「事務局担当 杉田純一」から、「事務局担当は医局長が実務を行う」に改正。

会則改正

2019 年 4 月 19 日

第 13 条を改正し、臨床研究マネージャーと臨床研究マネージャー会議に関して第 3 項を設けた。

会則改正

2020 年 11 月 9 日

第 11 条改正 「総会の当日に年会費として参加 1 施設あたり 10,000 円を納める。」から、「12 月頃に年会費として参加 1 施設あたり 100,000 円を納める。希望する施設には、10,000 円～100,000 円の範囲で変更を認める。」に改正。

第 13 条を改正し、ワーキンググループに関して第 4 項を設けた。

4-1.

役員

名誉会長	今村 雅寛	札幌北榆病院	血液内科	顧問
代表・事務局	豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科	教授
顧問	笠井 正晴			
顧問	森岡 正信	愛育病院	血液内科	名誉院長
顧問	福原 敬	札幌厚生病院	緩和ケア内科	センター長
顧問	藤本 望	開成病院	内科	副院長
幹事	橋野 聡	北海道大学	保健センター	教授
幹事	遠藤 知之	北海道大学病院	血液内科	診療准教授
幹事・監事	橋本 大吾	北海道大学病院	血液内科	准教授
幹事	石原 敏道	勤医協中央病院	血液病センター	センター長
幹事	井端 淳	札幌厚生病院	血液内科	主任部長
幹事	太田 秀一	札幌北榆病院	血液内科	診療部長
幹事	柿木 康孝	市立旭川病院	血液内科	診療部長
幹事	黒澤 光俊	北海道がんセンター	血液内科	診療部長
幹事	小林 一	帯広厚生病院	第四内科	主任部長
幹事	酒井 基	手稲溪仁会病院	血液内科	主任部長
幹事	田中 淳司	東京女子医大	血液内科	教授
幹事	堤 豊	市立函館病院	血液内科	科長・医長
幹事	長谷山 美仁	斗南病院	血液内科	科長
幹事	重松 明男	釧路労災病院	血液内科	部長
幹事	近藤 健	愛育病院	血液病センター	センター長
幹事	盛 暁生	愛育病院	血液病センター	副院長
幹事	山本 聡	市立札幌病院	血液内科	部長
幹事	竹迫 直樹	災害医療センター	血液内科	特任副院長
事務局・会計	後藤 秀樹	北海道大学病院	血液内科	助教

4-2 参加施設

施設代表	豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科	教授
施設代表	藤本 望	開成病院	内科	副院長
施設代表	石原 敏道	勤医協中央病院	血液病センター	センター長
施設代表	井端 淳	札幌厚生病院	血液内科	主任部長
施設代表	太田 秀一	札幌北楡病院	血液内科	診療部長
施設代表	柿木 康孝	市立旭川病院	血液内科	診療部長
施設代表	黒澤 光俊	北海道がんセンター	血液内科	医長
施設代表	小林 一	帯広厚生病院	第四内科	主任部長
施設代表	酒井 基	手稲溪仁会病院	血液内科	主任部長
施設代表	田中 淳司	東京女子医大病院	血液内科	教授
施設代表	堤 豊	市立函館病院	血液内科	科長・医長
施設代表	長谷山 美仁	斗南病院	血液内科	科長
施設代表	重松 明男	釧路労災病院	血液内科	部長
施設代表	盛 暁生	愛育病院	血液病センター	副院長
施設代表	山本 聡	市立札幌病院	血液内科	部長
施設代表	竹迫 直樹	災害医療センター	血液内科	特任副院長
施設代表	永嶋 貴博	北見赤十字病院	第一内科・総合診療科	部長
施設代表	川村 詔導	函館中央病院	内科	臨床顧問
施設代表	進藤 基博	旭川医科大学	消化器・血液腫瘍制御内科学分野	講師
施設代表	佐藤 一也	旭川厚生病院	内科／血液腫瘍	主任部長

4-3 臨床研究マネージャー

後藤 秀樹	北海道大学病院	血液内科
白鳥 聡一	北海道大学病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
小野澤 真弘	北海道大学病院	血液内科
—	開成病院	内科
佐賀 智之	勤医協中央病院	血液病センター
井端 淳	札幌厚生病院	血液内科
皆内 康一郎	市立札幌病院	血液内科
岡田 耕平	札幌北榆病院	血液内科
松岡 里湖	市立旭川病院	血液内科
藤本 勝也	北海道がんセンター	血液内科
若狭 健太郎	帯広厚生病院	第四内科
林 敏昭	手稲溪仁会病院	血液内科
—	東京女子医大病院	血液内科
伊東 慎市	市立函館病院	血液内科
武田 紫	斗南病院	血液内科
重松 明男	釧路労災病院	内科
泉山 康	愛育病院	血液病センター
小笠原 励起	北榆病院	血液内科
竹迫 直樹	災害医療センター	血液内科
橋口 淳一	北見赤十字病院	第一内科・総合診療科
—	函館中央病院	内科
進藤 基博	旭川医科大学	消化器・血液腫瘍制御内科学分野
佐藤 一也	旭川厚生病院	内科／血液腫瘍